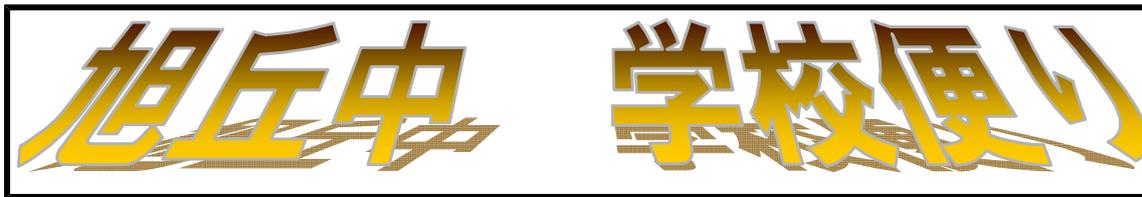


平成 29 年 度



第 9 号

練馬区立旭丘中学校：発行 1月

## 経験を生かす

校長 南 俊彦

平成30年が始まりました。明けましておめでとうございます。昨年中は本校70周年の式典・祝賀会を地域の皆様、保護者の皆様のご協力で盛会に終えることができました。今年も様々な教育活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年が改まると、改めて目標を考えたり将来の夢を描いたりする機会が生まれます。始業式では、具体的な目標を立てること、具体的な目標を立てたら紙に書いておくこと、そして目標を実現するためには今何をすべきか、今日は目標達成のために取り組めたかを考えてほしい旨を話しました。「3月までに・・・」「今年は・・・」「中学校卒業までに・・・」と具体的な期日を区切って考えてほしいと思います。

現在3年生の面接練習を校長室で行っています。その中で、中学校で頑張った事や経験した事からどんなことを学んだかを質問しています。頑張った事は「運動会のむかで競走でみんな協力してやり遂げた」「部活動を3年間続け、努力することの大切さを学んだ」「苦手だと思っていた事も3年間続けて、周りから認められた」というように、中学校の3年間でいろいろな経験をしてきたことがよく分かります。整理しきれていない生徒には、一緒に考えて、成果をまとめて伝えてあげることもあります。別の質問で、小学生の頃の自分と現在の中学3年生の自分とを比べて成長したと思うところを尋ねています。「自分の意見が言えるようになった」「友達と話す機会が増えた」「何事も真面目に取り組めるようになった」という考えを聞かせてくれました。「比べる」というほうが考えやすく、成長した自分を自分の言葉で語ることができていました。今までの自分を整理して自分の言葉で語れることはとても大切だと思います。あらかじめ面接官などの相手が気に入ってくれそうな夢や目標を考えて言葉にすることは簡単なことです。しかし、今までの自分の経験を踏まえ、その経験から学んだ事を土台にして夢を語れば、相手に重みをもって伝わります。自分のこれまで経験した事から学んだ事を整理して、これからの夢や生き方を考え、目標となる夢を自分自身の言葉で語ってほしいと思います。3年生の面接での「将来の夢」は、「保育師になりたい」「プログラマーになりたい」という具体的な職種をあげる生徒もいれば、「野球と関わる仕事がしたい」「サッカーと関わる仕事がしたい」というように自分の興味関心と絡めた夢、「英語の勉強をたくさんして通訳のような仕事がしたい」、「高校に行って、勉強やいろいろな経験をしながら考えたい」というような回答もあり、様々でした。夢が具体的な職業であっても、漠然とした夢であっても構いません。これからいろいろな経験を重ねていきます。その経験から何を学んだかを振り返りながら自分の夢を見つけていってほしいと思います。

## ○中学校作品展 1月13日（土）～17日（水）



いろいろな感想が聞こえてきました。日曜日には一般の方が中学生の作品に感心されている姿も見られました。

練馬区中学校作品展が練馬区立美術館で開催されました。美術、技術・家庭、特別支援学級の作品が展示されました。D組の生徒は土曜日に出掛けて行き、見学してきました。

いろいろな作品を見て、「自分も作ってみたい」「どうやって作るのか知りたい」というよう



## ○かるた会 1月18日（木）

今年も恒例の青少年育成桜台地区委員会の主催によるかるた会が開催されました。前日までの冷え込みに比べ



暖かな日となり、絶好の「かるた会日和」となりました。各グループに保護者の方が審判としてご協力くださり、楽しい時間を過ごすことができました。団体優勝は1年B組3班（82枚）、2位はD組2班（71枚）、3位は1年B組4班（70枚）でした。



## ○小中一貫教育フォーラム 1月22日（月）



練馬文化センター小ホールで旭丘中・旭丘小・小竹小3校の小中一貫教育の取り組みについて発表しました。中学校での小学生の部活動体験や旭丘小運動会への中学生ボランティア派遣、旭丘中体育科教員による小学6年生への「走る」授業、12月に行われた小中学校合同の研究授業など1年間の取り組みをパワーポイントを使って発表しました。

## ○雪かきを行いました 1月23日（火）

東京に4年ぶりの大雪が降った23日、D組は4時間目の体育の時間に体育館脇の雪かきをしました。お昼近くだったので、雪はほどよく溶けてスコップを動かすとどんどん地面が見えてきました。雪をかく仕事と、雪を集める仕事に分かれて行いました。

